

情報工学部 FAQ

よくある質問をまとめました (2021.9.27更新)

Q1. 理工学部情報工学科から情報工学部になりますが、具体的に何が変わりますか。

A1. 企業のエンジニアによる開発セミナーなどは、これまでは正課外で行われていましたが、情報工学部では、普段のカリキュラムの中で体験し学ぶことができるようになります。学生の学ぶ意欲にこれまで以上に応えられるようになります。

Q2. 総合コースは具体的に何をしますか。

A2. 従来の理工学部情報工学科の学びを継承し、情報工学の技術を深く体系的に学びます。先進プロジェクトコース向けの授業の一部も履修可能ですので、理工学部情報工学科の時代よりも学べる範囲が広がります。

Q3. 先進プロジェクトコースは具体的に何をしますか。

A3. PBL (Project-Based Learning=課題解決型学習) を導入して、実社会で利用されている情報工学を実践的・体験的に学びます。企業で活躍する現役の情報エンジニアたちから直接指導を受けるチャンスもあり、また、他者と協働しながら活動するためのさまざまなスキルも身につけます。

Q4. いつ、どのようにコースに分かれるのですか。各コースの人数制限等ありますか。

A4. 2年次への進級時に、本人の希望とそれまでの成績や活動実績等を参考にコース配属を行います。総合コースは120人、先進プロジェクトコースは60人が定員の目安です。

Q5. いつ、どのように研究室に配属されますか。所属コースが研究室配属や研究内容に影響しますか。

A5. 3年次後半に研究室に配属され、4年生から本格的に研究に着手します。研究室配属は、本人の希望とそれまでの成績などに基づいて行います。所属コースは、研究室配属や研究内容には影響しません。

Q6. プログラミング実績評価入試の対象となるコンテストはどのようなものですか。簿記関係のプログラムコンクールやロボットコンテストは対象になりますか。

A6. プログラミングを含むコンテストへの参加や、ソフトウェアを開発して公開する実績などがあれば、対象は特に限定していません。詳細は入学センターへお問い合わせください。

Q7. コンピュータに詳しくないのですが、大丈夫でしょうか。

A7. 入学時点で詳しくなくても授業を通じて修得していくので問題ありません。ただし、コンピュータを道具として多用する学部ですので、一般的な操作は早い段階で問題なく行えるようになり、自分で手を動かして知識を吸収していく姿勢が望まれます。

Q8. 工業高校に通学していますが、入学後に4年間で卒業できるか心配です。授業についていけるでしょうか。

A8. いくつかの科目では普通科の出身者より努力が必要となりますが、多くの工業高校出身者が4年間で問題なく卒業しています。情報工学は数学や物理学が基礎となるので、基礎の不安な学生のために、高校の学習内容を補習する授業も開講しています。数学IIIや物理を修得していない人は、補習科目の履修を勧めています。

Q9. 大学院へはどれくらいの人数が進学しますか。

A9. 年によって異なりますが、16~28人(定員150人の現状で過去5年の実績)。12~18%くらいが進学しています。

*以下、2021年9月11日オンラインイベントでいただいた質問を中心に、回答を追加しています。

Q10. 1年次に専門分野をどの程度学びますか？

A10. 1年次は基礎的な科目の比率が高いものの、4つのプログラムとも専門科目のいくつかがスタートします。

Q11. 物理が得意な方がいいでしょうか？

A11. 情報工学にとって、物理は数学と同様に基礎となる科目ですので、得意であれば授業の理解がより深まるでしょう。高校の学習内容を補習する授業もありますので、基礎が不安な学生には履修を勧めています。

Q12. 英語が苦手なのですが、勉強をしっかりとっておく方がいいでしょうか？

A12. 情報工学は常に世界との繋がり、世界を相手にしている分野ですので、研究・開発に関わる上で英語はとても重要になります。しっかりと勉強しておくとい良いでしょう。

Q13. VRを学びたい場合、どのコースが適切でしょうか？

A13. VRをはじめとするほとんどの講義科目は、所属コースに関わらず受講して学ぶことができます。

Q14. 入学までに自分のパソコンを購入した方がいいですか？

A14. 情報工学部では一人1台のノートPCを所持し、卒業まで使います。必要な仕様と準備期限などは入学前に案内しますので、購入していただくか現在お手持ちのものを使用していただくかご判断ください。

Q15. 海外研修や留学制度はありますか？

A15. 2015年より学科独自の国際専門研修を企画しており、毎年10名の学生が10～14日間、海外の大学での授業受講、現地学生との交流、現地企業の視察などを経験しています。語学研修については、大学が主催する短期留学などもあります。

Q16. 就職活動の際に面接指導などのサポートはありますか？

A16. 個人面接・集団面接・グループディスカッションなどの形式に応じた対策講座を実施し、希望者には専門のキャリアアドバイザーやキャリアセンター職員による模擬面接も行っています。研究室の指導教員が指導するケースもあります。

Q17. 基本情報技術者試験の受験について具体的なサポートはありますか？

A17. キャリアセンターエクステンション事務室にて基本情報技術者を目指す方のための講座（有料）を開講しています。学内で受講できるため移動時間と交通費が節約できます。受講生の合格率は50%前後（一般には20～30%程度）です。

Q18. 推薦入試の面接試験のために、どんな準備をするといいでしょうか？

A18. 一般的な面接での質問の他に、情報分野に関心をもっているかを尋ねることもありますので、新聞やニュースを日々確認し、さらに自分でも調べて理解を深める習慣にしておく、入学してから役にも立つでしょう。

Q19. 指定校推薦の有無、試験の内容について教えてください。

A19. 指定校推薦に関する情報は、大学から高校側にご連絡しています。高校の先生にご確認ください。

Q20. 専願、併願可の違いについて教えてください。

A20. 専願の入試方式は、合格された場合に必ず入学することが出願の条件です。情報工学部の場合、プログラミング実績評価入試等が専願です。併願可の場合、本学に合格しても他大学の合否次第で入学するかどうかを決めることが可能になります。受験したい入試方式がどれにあたるか、詳細は入学試験要項でご確認ください。